

大阪府立天王寺高等学校
平成30年度 第2回学校運営協議会

日時：平成30年11月24日（土）10：00～11：30

場所：校長室

1. 開会

2. 会長挨拶

天王寺高校の素晴らしい行事についての報告も含め、楽しみにしている。また忌憚らない意見をいただきたい。

3. 校長挨拶

今年度の行事については、あしび登山(7月)が気候のため一時中止になり、2年生の修学旅行についても台風の心配などがあったが、いずれも無事に行事を終えることができた。

生徒たちは変わらず日々元気に過ごしている。本日は本校の状況など、進捗についてご報告させていただきたい。

4. 協議

(1) 学校教育自己診断の結果と分析について

【生徒からの評価】

全体的に昨年度と大きな変化は見られなかった。質問項目7「学校の授業だけで進路希望達成に必要な学力をつけてくれる」や質問項目26,27(清掃活動)に上昇が見られた。

【保護者からの評価 提出率(80%)】

質問項目8「学習の内容や進捗等を懇談や通信などによって知ることができる」が5%減少した。教員間でこの状況を共有し、原因究明に努めたい。

【教職員評価・その他】

清掃活動について。生徒のみならず、教員も保健部による効果を実感している。質問項目35や質問項目37ともに10%以上上昇。項目14「進路指導に関して、生徒へのきめ細かい情報提供や適切なアドバイスを行っている」については12%減少。教職員に対する進路研修がアンケート実施後の日程になったことが影響したか。

(2) 第1回授業評価アンケート

学校全体としては、「授業内容に、興味・関心を持つことができたと感じている」「授業を受けて、知識や技能が身に付いたと感じている」の項目が共に3.4となり、今年度の目標(平成30年度学校経営計画)3.45には、0.05届かなかった。質問項目1「授業内容について、必要な予習・復習ができている」質問項目5「先生は教科書のほか、役に立つプリントなどをうまく使っている」については、教科・授業の特性に左右されるため、12月実施の第2回に向けては実態に即した形の質問に変更を検討中。

また「わかる授業」から「力をつけていく授業」「子どもたちが主体的に学ぶ授業」の

実現に向けて、アンケート結果を踏まえて研究中である。

(3) GLの報告

- ・アメリカ研修(サンフランシスコ, シリコンバレー)
10校合同で本校主催の研修。帰国後も企業を訪問し、研究過程のプレゼンテーションなども行っている。年度末にも発表予定。
- ・台湾研修
台北第一女子高校にて研修実施。ポスターセッション・オーラル発表などを行う予定。
- ・シンガポール研修: 2年生向けの冬期海外研修。12月25日~12月30日。19名参加。
- ・Road to Global Leaders : 英会話、プレゼン能力の育成を目指す。今年度はベルリッツによる研修。55名(1年生50名、2年生5名)参加。
- ・英検校内実施(2級) 受験者20名のうち、17名合格。
- ・GLHS教員研修: 予備校講師による教員向け研修の実施。(国 数 英 化学 生物)
- ・京都大学 京大キャンパスガイド: 11月4日, 1年生181名参加
- ・大阪大学
阪大FGLC: 文系の生徒対象に実施。本校からは2名合格。(8月7日~8月9日)
阪大ツアー: 1年学年企画で実施。11月17日実施。1年生124名参加
GLHS10校による合同発表会: 文系生徒10校の代表者による発表会。2月9日。
- ・海外からの受け入れ: 台北第一女子: 姉妹港提携案(2019年4月22日 来校)
慶南女子高校(韓国): 年1回の来校(2019年1月25日)
- ・天高アカデミア: 現在10回程度実施。
- ・その他
大阪グローバル塾: イギリス リーズ大学へ留学。1名(2年生)参加。
模擬国連。取り組み3年目。参加生徒たちは大健闘した。
トビタテ! 留学 JAPAN: 2年生2名

(4) SSHの報告

【基礎枠の取り組み】

- ・創知I~IIIの実施
- ・研究倫理
- ・天高アカデミア、医系ライフ、科学オリンピック、ウルトラレッスン など。

【重点枠の取り組み】

- ・大阪サイエンスデイ
第1部を本校体育館で実施。10月20日実施。第2部は、第1部の研究をより深め、オーラル発表で12月に大工大梅田キャンパスで実施。
- ・近畿サイエンスデイ: 2019年2月2日に開催予定。
- ・アメリカ研修: 発表の機会を充実させる方向で実施。

5. 質疑応答及び意見交換

委員: 多彩な取り組みは、素晴らしいことだと思う。全体的に見て、アンケートの評価

も高い。先生方が伝えたいことは8割方伝わっているのではと考えるが、忙しい3年間を過ごす中で、生徒たちがホッと一息つくときは果たしてあるのか。少し心配である。

事務局：教育相談体制を充実させている。子どもと過ごす時間を教員が確保できているかは疑問もある。労働・仕事量なども考慮していく必要がある。

事務局：家庭が生徒にとってホッとする場であると、生徒は安心できる。生徒一人一人に、それぞれの活躍の場があれば良いと思う。

委員：生徒をフォローする体制が学校としてできているか。孤立させないという体制を、作ってほしい。

委員：多くの取り組みをしているが、超過勤務について、どのように考えているか。

事務局：ノークラブデーを導入しており、部活動休養日を年間で104日確保することになる。部活動実施時間の短縮が教員の超過勤務の縮減に直結するかは、やってみないとわからないのではない。

委員：働き方改革による制度変更によって、教員が生徒と接する時間が減ってしまうことを危惧している。天王寺の学校の意見を聞きたい。

事務局：部活動は、普段は長くやっていない。活動時間は18:05までである。

事務局：質問に来る生徒が多い。3年生については朝7時から夜7時の教室開放を実施し、学習環境を確保している。勤務時間削減によって、これらの取り組みを減らすことになれば生徒の満足度が下がると考えられる。むしろ生徒からはまだまだ増やしてほしいという声がある。労働時間ということだけで、考えてよいのだろうか。学校に合う制度であるかを考える必要がある。

委員：18:05完全下校というのは、時間管理という面ではめりはりがついてよい。

委員：部屋が暑いのでどうにかしてほしいというものがあるが、エアコンの設置についてはどうか。

事務局：寄付で設置したとしても、維持費・メンテナンス費は府の資金で賄わなければならない。特別教室のエアコンは基本、設置してくれない。

委員：芸術4科については、是非学校として大切にしていきたい。

委員：働き方改革について、時間を短縮し、かつ質を保つのは難しいと感じる。

委員：トップ層にとっての天王寺の授業について、生徒の取り組みはどうか。

事務局：進度が早くついていくのはそんなに簡単なことではないので、真剣に取り組んでいる。

事務局：通塾率が上昇している。わかる授業のひとつ上、もっと勉強したい！しないといけない！と思わせる授業を目指したい。

委員：天王寺の授業で十分であるという、塾ありきの中学時代とは切り替えができるようにしてもらいたい。

委員：オール文理科になったことによって、生徒の意欲はどうなったのか。志望校など。

事務局：志望大学に大きな変化は見られない。生徒も大きくは変わっていない。

委員：文理学科の創知の取り組みは注目されている。広報をもっと進めてみてはどうか。

6. 閉会